

省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト

目的

ICTを活用した高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、労働負担の軽減や労働力不足解消に向けたスマート農業の推進などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図る。

これまでの主な取組・成果

■ ICTの活用など、高収益で安定的な生産体制の整備 [民間、市町村、振興局]



◀ リモート式下刈り機械実証試験見学会
開催日：令和3年8月18～19日
場所：紋別市
概要：地域協議会、民間企業と連携し、労働安全対策及び省力化を目的として開発された「リモート式下刈り機械」の実証試験に合わせ、機械見学会を開催。約30名が参加。



◀ 海域の特性に応じた栽培漁業の推進
場所：湧別沖、紋別沖ほか
概要：災害に強いホタテガイ漁場造成のための魚礁移設の実施、養殖場の整備

■ 担い手の育成確保・確保 [市町村、振興局]

就農セミナー2022 in 東京農業大学

開催日：令和4年1月18日

場所：東京農業大学オホーツクキャンパス及びオンライン

概要：農業を将来の選択肢として学生向けに提案することを目的に、多様な就農形態の事例についてのセミナーを開催。学生を含む36名が参加。

北見地域地材地消見学会

開催日：令和3年10月29日

場所：北見市

概要：木材利用意識の醸成等を図るとともに、地元企業への就業機会創出のため、北見高等技術専門学院の学生を対象に地材地消見学会を開催。

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	52.3% (R2)	集計中 (R3)	78.9% (R7)	—
網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保	0.74 (R1)	0.64 (R3)	1.00 (R7)	64.0%
建築材等の出荷量	45.5千m ³ (R2)	53.6千m ³ (R3)	51.9千m ³ (R7)	103.3%
地域住民との協働による森林づくり参加者数	9,907人 (R1)	4,637人 (R3)	10,400人 (R7)	44.6%
衛生管理型漁港の整備	5港 (R2)	4港 (R3)	6港 (R7)	66.7%

R4年度の主な取組

■ 技術の導入拡大に向けたスマート農業セミナーの開催 [市町村、振興局]

■ 毛ガニ栽培漁業に係る基礎技術水産開発試験の開始 [市町村、漁協、東京農業大学、振興局]

■ 担い手の確保に向けた、東京農業大学生向けの就農セミナーの開催や美幌高校及び大空高校における出前授業の実施 [大学、高校、金融機関、振興局]

豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト

目的

多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上、起業・創業に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 多様な主体の連携による食の地域ブランド力の強化、販路拡大 [民間、市町村、振興局]

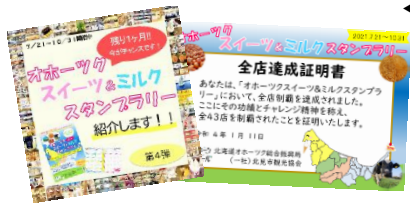


◀ 「地場産たくさん オホーツク弁当」
(通称:オホ弁)の開発・販売
概要:
オホーツク地域のブランド力と知名度の向上を図るため、振興局及び(公財)オホーツク財団、管内事業者4社を会員とする「オホ弁」製作実行委員会を立ち上げ、「オホ弁」4種を開発し、令和4年4月から販売。



◀ オホーツク産品フェア
開催日:令和4年7月20日~26日
場所:北海道どさんこプラザ羽田空港店
概要:管内食関連事業者の販売機会の創出とオホーツクの環境保全活動の一環として、局内の課が連携して店内に特設ブースを設置し、管内商品の販売会やオホーツク流氷トラスト運動のPRを実施。

■ 農畜産物の6次産業化や認知度及び付加価値向上による消費拡大 [振興局]



◀ オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリー
開催日:令和3年7月21日~10月31日
場所:オホーツク管内のパン、菓子、乳製品販売店等
概要:主にオホーツク管内の消費者向けに、オホーツク産農畜産物を使用したオホーツクスイーツや牛乳・乳製品等を扱う対象施設を回るスタンプラリーを実施。



◀ オホーツク管内高付加価値化研修会
開催日:令和4年 ①1月27日 ②3月8日
概要:6次化に取り組む農業者向けに、インボイス制度やマーケティングに関する研修会をオンラインで開催。延べ81名が参加。

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「オホーツクブランド認証」新規認証件数	延べ18件(R2)	延べ41件(R2~R3)	延べ50件以上(R2~R6)	82.0%
農業団体の農畜産物輸出货量	1,634 t(H30)	集計中(R3)	1,800 t(R6)	—
EU-HACCP取得業者数	7業者(R2)	8業者(R3)	9業者(R7)	88.9%

R4年度の主な取組

- 「地場産たくさん オホーツク弁当」の管内外へのPRを通じた、管内製品の認知度向上及び高付加価値化 [振興局]
- 「オホーツクフェスタin東京都庁」の開催による首都圏への管内製品の販路拡大の推進 [振興局]
- 6次産業化に取り組む農業者向けの研修会の開催 [民間、農政事務所、振興局]

多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

目的

オホーツクAI活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、オホーツクの優位性を活かした新しい旅行スタイルを推進する。さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致など、オホーツクへの来訪促進の取組を総合的に展開する。

これまでの主な取組・成果

■管内18市町村と連携した地域PR [民間、オホーツクAI推進協議会]



◀ オホ☆キャラ隊集合！ガチンコ☆人間ばん馬対決優勝チーム予想キャンペーン
 実施期間：令和3年7月16日～8月23日
 概要：オホ☆キャラ隊が置戸町の人間ばん馬に挑戦する地域PR動画を制作し、SNS等で発信するとともに、優勝チームの予想キャンペーンを実施。

■インフルエンサーを活用した観光情報の発信 [民間、市町村、振興局]



◀ SNS情報発信プロモーション
 実施日：①令和3年7月27日～30日
 ②令和4年2月22日～2月25日
 概要：女性や若者をターゲットに、インスタグラマーを活用して夏の知床の観光や流氷観光の情報を発信。

■外国人観光客の受入体制づくりの推進 [振興局]

講演会「より良いインバウンド対応のためにー文化と言葉の壁を越えるコトー」
 開催日：令和4年2月28日
 場所：知床世界遺産センター
 概要：斜里町ウトロ地区の宿泊施設従業員やガイド事業者を対象に、初歩的なインバウンド対応能力の向上を図るための講演会を開催。

■スポーツ合宿の誘致活動に向けたPR活動の実施 [振興局]

「第95回全日本学生スキー選手権大会」のプログラムへの広告掲載
 実施日：令和4年2月
 概要：スポーツ合宿誘致に向け、大会のプログラムにオホーツク管内のスキー場を紹介する広告を掲載。

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	64.9%(R2)	63.0%(R3)	70.0%(R7)	90.0%
観光入込客数	885.1万人(H30)	603.3万人(R3)	988.0万人(R6)	61.1%
管内のスポーツ合宿実施件数	429件(R1)	集計中(R3)	増加させる(R7)	—
管内空港利用客数	32.1万人(R2)	50.6万人(R3)	116.2万人(R6)	43.5%

R4年度の主な取組

- 「オホ☆キャラ隊」を活用した地域PR動画による魅力発信や「オホーツクAI推進協議会」による管内周遊の促進 [オホーツクAI推進協議会]
- ツーリズムEXPOジャパンなど、道内外での観光プロモーションによる交流・関係人口拡大の推進 [市町村、振興局]
- 外国人観光客の受入体制整備に向け、台湾と日本をメインターゲットとした北見、網走発着の体験型観光コンテンツの造成 [北見市、網走市、振興局]

オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト

目的

オホーツクの豊かな農林水産資源を活かした地域産業力の向上や、地域情報の発信、優れた自然環境をはじめとした多様な地域資源などを活かすことにより、オホーツクの魅力を向上させ、産業・雇用の創出をはじめ、関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 地域公共交通など地域資源を活用した「オホーツク愛」の醸成 [民間、振興局]



- ◀ 魅力発見！ちびっこ飛行体験ツアーinオホーツク
開催日：令和3年11月23日
場 所：女満別空港～知床半島上空
概 要：飛行機を身近に感じてもらうとともに、地域の魅力を発見・体験することによる地元愛の醸成を目的として、上空飛行体験やふるさと教育、空港見学を実施。小学生38名が参加。

■ 移住交流フェアへの参画 [市町村、振興局]



- ◀ 北海道移住交流フェア2021
開催日：令和3年11月14日
場 所：東京交通会館（東京都）
概 要：オホーツク地域への移住促進を図るため、ブース出展し、管内市町村の魅力PRや仕事情報を発信。

■ 新規学卒者等の地元就労、離職防止及び職場定着の推進 [市町村、振興局]



- ◀ 地元企業展示会（じもと×しごと発見フェア）
開催日：令和3年12月6日
場 所：ホテル黒部（北見市）
概 要：高校1、2年生を対象に、地元企業や仕事の情報を提供する地元企業展示会を開催。



- ◀ 高校生向け出前型ワークショップ
開催日：令和3年10月26日
場 所：北見商業高等学校
概 要：高校生を対象に、地域の仕事の魅力や地元で働く選択肢があることを知ってもらうため、地域で働く社会人と連携したワークショップを実施。

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者の管内就職内定率	67.7% (R2)	70.0% (R3)	75.0% (R6)	93.3%
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	66.2% (H28～R2平均)	66.7% (R3)	71.8%を上回る (R3～R6平均)	92.9%

R4年度の主な取組

- 子ども達を対象に管内の乗合バスやJRが乗り放題となる「ちびっこフリーパス」の販売など、地域公共交通の利用促進 [民間、振興局]
- 移住交流フェアへの出展やオンラインによる移住セミナーの開催など、関係人口の拡大や移住定住の促進 [振興局]
- 地元企業の人材確保・職場定着の促進に向けた中小企業向けセミナーの開催 [振興局]

豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト

目的

知床世界自然遺産や流氷など、オホーツク地域が誇る豊かで優れた自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、バイオマス資源などを有効に活用した再生可能エネルギーの利活用、森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進することにより、自然との共生を図りながら、持続可能な脱炭素型の地域づくりを進める。

これまでの主な取組・成果

- 「オホーツク流氷トラスト運動」などを通じた
ゼロカーボンオホーツクの推進 [民間、市町村、振興局]



- ◀ クイズに挑戦して流氷を守ろう！
キャンペーン

実施期間：令和3年2月16日～3月5日
概要：サッポロビール(株)の協賛により、流氷に関するクイズを通して、「環境にやさしいエコな行動」を考えるきっかけを創出し、流氷をはじめとした環境保全の重要性について普及啓発。6,370件の応募。

- オホーツク産木製品の利活用による脱プラスチックの促進 [民間、市町村、振興局]



- ◀ オホーツク産森林認証材を活用した木製スプーンの製作・配布

開始：令和3年6月～
場所：首都圏及び管内飲食店
概要：オホーツク産木製品をPRするため、モニター用木製スプーンを制作し、首都圏や飲食店に配布するとともにポップを設置。約2万本を配布。

- 北オホーツク地域循環共生圏構築協議会や津別町森林バイオマス利用推進協議会など、地域におけるバイオマス資源導入促進に向けた検討・協議への参画 [民間、市町村、振興局]

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村 (R2)	4市町村 (R3)	9市町村 (R7)	44.4%
新エネルギー発電設備容量	27.1万kw (R1)	調査中 (R3)	48.0万kw (R7)	—
間伐の実施面積	—	2,693ha/年 (R3)	2,437ha/年 (R3~R7)	110.5%
エゾシカ捕獲目標達成率	—	147.1%	100.0% (R3~R7)	147.1%

R4年度の主な取組

- 「公共交通に乗って流氷を守ろう！キャンペーン」の実施など、地域住民等に向けた環境保全活動の普及啓発 [市町村、民間、振興局]
- 道内のアウトドア用品店「秀岳荘」とのコラボによるノベルティの作成や情報発信力の強化 [民間、市町村、振興局]
- 木材利用の意義をPRする木製品や動画の制作など、木製品の利活用促進による脱炭素化の促進 [振興局]

評価指標 (KPI) 一覧

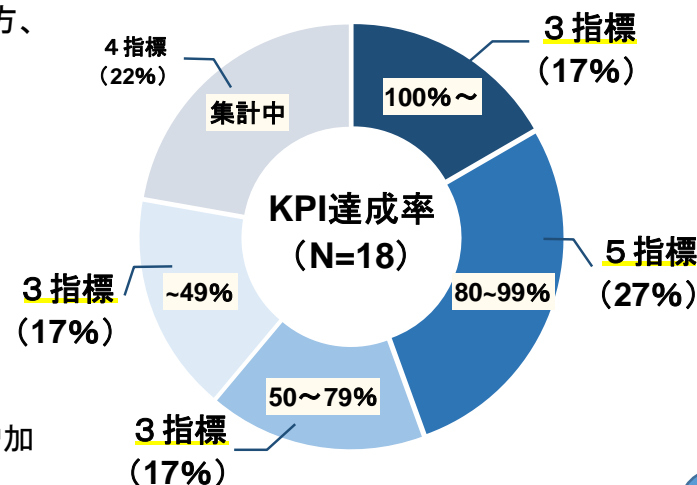
プロジェクト名	評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	52.3% (R2)	集計中					78.9% (R7)	—
	網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保 (造林面積/伐採面積 \geq 1)	0.74 (R1)	0.64					1.00 (R7)	64.0%
	建築材等の出荷量	45.5千m ³ (R2)	53.6千m ³					51.9千m ³ (R7)	103.3%
	地域住民との協働による森林づくりの参加者数	9,907人 (R1)	4,637人					10,400人 (R7)	44.6%
	衛生管理型漁港の整備	5港 (R2)	4港					6港 (R7)	66.7%
豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト	「オホーツクブランド」新規認証件数	延べ18件 (R2)	延べ41件					延べ50件 (R2~R6)	82.0%
	農業団体の農畜産物輸出量	1,634t (H30)	集計中					1,800t (R6)	—
	EU-HACCP取得業者数	7業者 (R2)	8業者					9業者 (R7)	88.9%
多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	64.9% (R2)	63.0%					70.0% (R7)	90.0%
	観光入込客数	885.1万人 (H30)	603.3万人					988.0万人 (R6)	61.1%
	管内のスポーツ合宿実施件数	429件 (R1)	集計中					増加させる (R7)	—
	管内空港利用客数	32.1万人 (R2)	50.6万人					116.2万人 (R6)	43.5%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト	新規高卒者の管内就職内定率	67.7% (R2)	70.0%					75.0% (R6)	93.3%
	「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	66.2% (H28~R2 平均)	66.7%					71.8% を上回る (R3~R6 平均)	92.9%
豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村 (R2)	4市町村					9市町村 (R7)	44.4%
	新エネルギー発電設備容量	27.1万kw (R1)	調査中					48.0万kw (R7)	—
	間伐の実施面積	—	2,693ha/年					2,437ha/年 (R3~R7)	110.5%
	エゾシカ捕獲目標達成率	—	147.1%					100.0% (R3~R7)	147.1%

分析・対応方向

- ✓ 評価指標の進捗率については、8つは80%を超え、うち3つが目標値を達成する一方、50%未満の進捗率は3つ
- ✓ 『管内への観光入込客数』や『管内空港利用客数』は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限や各地イベントの中止などにより、低迷が続いている状況
⇒ 今後は、感染防止行動と社会経済活動の両立を図りながら、コロナ感染拡大前の水準の回復に向け、交流・関係人口の拡大に取り組む
- ✓ 『新規高卒者の管内就職内定率』及び『「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合』は、基準値から増加し、進捗率が90%を超える
⇒ 引き続き、地域資源を利用した地元愛の醸成や地元就労の促進に取り組む
- ✓ 『ゼロカーボンシティ表明市町村』の進捗率は50%未満だが、表明市町村は順調に増加
⇒ 「オホーツク流氷トラスト運動」の取組の推進や「ゼロカーボン北海道」に係る普及啓発を通じ、地域住民等のゼロカーボンに対する意識醸成に取り組む



R 4 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
農村を支える多様な担い手確保推進事業	農業・農村地域においては担い手不足が深刻化する一方、コロナ禍で農業や地方への移住が注目されていることから、従来型の大規模畑作・酪農だけではなく、多様な就農形態の可能性を示すことにより、新規就農者及び雇用労働者の確保を目指す。	①④
オホーツクスマートアグリ推進事業	ICTやロボット技術を活用して省力化・高品質の農業生産を図るスマート農業技術や、農業生産工程の管理手法であるGAPの取組などにより、効率的で生産性の高い農業を推進する。	①
オホーツク東部地材地消推進事業	道内屈指の林業地帯で木材生産基地であるオホーツク東部流域の高い建築・建具技術を学ぶ機会を提供し、若者世代の地元企業への定着と、地材地消の意識向上を図る。	①
オホーツク「食」のブランド化促進事業	地域の産学官金の連携により、地域資源を活かした多様な産品を管内外に発信するとともに、商品開発等を分野横断的に推進し、食関連産業の総合的な振興を図る。	②
オホーツクあぐりテロワール魅力発信事業	新型コロナウイルスを契機に、地域の食の価値と魅力を見つめ直す機会となっていることをチャンスと捉え、オホーツク農業・農村・農畜産物の魅力を再発信し、認知度向上、付加価値向上に取り組むとともに、消費者への理解醸成を図り、管内農業・農村・農畜産物の応援団を増加させる。	②③
オホーツク観光再生事業	コロナ禍で変わる旅のスタイルに対応し、オホーツク地域の域外からの交流関係人口の増加、観光産業の振興を図るため、地域の特性・資源を活かし、管内市町村が連携しての戦略的な個人・団体旅行（外国人を含む）の誘致により、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を活かした観光地づくりを推進する。	③
オホーツク・スポーツブランド化推進事業	冷涼な夏、寒冷な冬、日照率が高い等の気候特性を活かし、管内の市町村と連携して更なるスポーツ合宿の誘致等に係る様々な取組を進めることで、交流人口の増加に伴うオホーツク地域の活性化を図る。	③
知床世界自然遺産のインバウンドステップアップ事業	知床世界自然遺産地域への外国人旅行者が増加しており受入体制を充実していく必要があるため、情報提供の英語化対応を進めるとともに地域一体の共通認識を段階的に高めていく。	③⑤

R 4 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
オホーツク地域人材確保・定着促進事業	人口減少・少子高齢化が進む中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、人手不足が一層深刻化している農林水産業や建設業など地元企業の人材確保・職場定着を促進し、オホーツク地域の経済・雇用の活性化を図る。	④
地域連携推進オホーツク活性化事業	持続可能で活力ある地域づくりの実現に向け、交流・関係人口の拡大や人口定着による地域経済の活性化を図るため、行政はもとより、地域の多様な関係者が有機的に連携しながら、地域資源を活用した新たな取組や地元愛の醸成、効果的な情報発信を推進する。	③④
流水トラスト加速化プロジェクト推進事業	持続的で活力あるオホーツクを実現するため、オホーツク流水トラスト運動の地域への浸透に向けた取組の通年化と、環境保全を通じた地域のPRを進める。	⑤
脱プラ！着モク！脱炭素化促進事業	脱プラのモデルとなる木製品を製作し広告媒体として活用することで、木材の有効利用による環境面での貢献を幅広くPRする。	①⑤

※オホーツク連携地域が推進するプロジェクト

① 省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	② 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト
③ 多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	④ オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト
⑤ 豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	